

鵜住居地域会議概要

- 1 議長 花輪 孝吉
副議長 吉永 隆志 ・ 前川 昭七
構成員 35 名（オブザーバー2 名を含む。）
- 2 地域概要 管内人口 3,798 名（平成 30 年 12 月末現在）
町内会数 15 団体
連合体 1 団体 単位：人

世帯数	鵜住居地域会議内 人口		
	計	男	女
1,851 世帯 (2,657 世帯)	3,798 (6,630)	1,879	1,919

行政区別人口（市民課調べ）

※（ ）内数値は平成 23 年 2 月末現在

単位：人

0～14 歳			15～64 歳			65 歳以上		
計	男	女	計	男	女	計	男	女
362	170	192	2,010	1,087	923	1,426	622	804

管内別 3 区分人口及び割合（市民課調べ）

1	鵜住居町内会	10	箱崎白浜町内会
2	新川原町内会	11	川目町内会
3	日向振興会	12	外山町内会
4	片岸町内会	13	室浜町内会
5	新田神ノ沢町内会	14	仮宿町内会
6	根浜親交会	15	桑の浜町内会
7	両石町内会	16	女遊部自治会
8	箱崎町内会	17	鵜住居地域振興協議会（休止中）

※団地等単体の自治会

日向団地親交会（県営・市営 A P）・日向復興公営住宅自治会

鵜住居復興住宅 2 号棟自治会・県営両石アパート自治会・県営片岸アパート自治会

3 会の目的

より良いまちづくりを進めるため、市民参加の理念のもと、地域と行政が一体となって地域の問題を考え解決策を見出し、地域自らも実践し、地域住民の意見を行政施策に反映させることを目的とする。

4 事業内容（平成 30 年度）

（1）地域課題対策事業

○ 地域課題の要望

地域課題をとりまとめ、課題解決に向け市に対し要望を行った。（要望事項 21 件）

○ 鶴住居地区センター会議（福祉課題検討会議）

「認知症の方が安心して徘徊出来るまちにするために必要なことは？」をテーマとして、地域で取り組めることを議論した。

○ 閉じこもり予防・孤食対策ふれあい交流事業

地域に安定した交流機会を確立し、自発的に日常的な助け合いの関係が生まれることを目指し、毎月 1 回、定期的に「皆でお昼を食べよう会」を開催している。

（2）地域環境整備事業

○ オープンウォータースイミング・トライアスロン大会への協力

関係町内会と連携し、会場周辺の草刈等の環境整備を行ったほか、大会運営への協力、大会会場での応援、沿道にてトライアスロン競技の選手を応援するなど、大会の盛り上げに協力した。

○ 鶴住居小学校・釜石東中学校グラウンド周辺の草刈り

小中 PTA と連携し、グラウンド周辺の草刈り作業を実施した。

（3）町内会等活動支援事業

地域コミュニティの形成や環境整備等の地域活動を行う町内会等を支援した。

※ 1 団体 20,000 円（上限額）の補助金額

（4）ラグビーワールドカップ 2019 機運醸成事業

鶴住居復興スタジアムオープニングイベントを盛り上げるため、聖学院大学、釜石シーウェイブスと共同で花プランター及びのぼり旗の作成と設置を行った。

（5）夏休み子ども海岸ふれあい事業

根浜海岸の夏のイベントに合わせて子どもふれあい事業を実施した。（漁船体験見学、シュノーケリング、スタンドアップパドルボード、工作づくり等）

（6）学習サポート事業

中学 3 年生を対象として、夏休み及び冬休み期間、ボランティア教諭の協力を得て、受験対策等の教室を開催した。

※ 釜石市社会福祉協議会によるボランティア教諭の募集協力

（7）河川稚魚放流事業

鶴住居川漁業協同組合に依頼し、鶴住居川に鮎の稚魚（約 400kg）を放流し、河川の資源確保に努めた。

（8）地域防災対策事業

釜石東中学校と連携し津波避難訓練を実施し、中学生による避難者の誘導、避難所設営訓練、ハンディキャップ体験訓練等を行った。